

ヨトウムシ類(シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウなど)に注意!

1 発生状況

- ・9月以降、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が平年よりやや多い状況で推移している。
- ・向こう1ヶ月の気温は、平年と比較して高い確率が40%と予想されており、引き続き、発生に注意が必要である。
- ・近年、特にシロイチモジヨトウは近隣府県で、薬剤に対する抵抗性が発達し問題になっている。

2 加害作物

- ・幼虫が、キャベツ、はくさい、ブロッコリーなどアブラナ科野菜、ネギ類、花き類など広範囲の作物を食害する(図1)。



図1 キャベツを加害する中齢幼虫



図2 卵塊

3 防除方法

- ・ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊(図2)や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。
- ・老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに下表1~3の薬剤等で防除する。薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける

表1 キャベツ、はくさい、ブロッコリーに登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	作物名	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
グレーシア乳剤	イソオキサゾリン(30)	キャベツ	ハスモンヨトウ	2000 ~ 3000	7日前	2回以内
			ヨトウムシ			
		はくさい	ハスモンヨトウ			
			ヨトウムシ			
		ブロッコリー	ハスモンヨトウ			
			ヨトウムシ			
ディアナSC	スピノシン(5)	キャベツ	ハスモンヨトウ	2500 ~ 5000	前日	2回以内
			ヨトウムシ			
		はくさい	ハスモンヨトウ			
			ヨトウムシ			
		ブロッコリー	ハスモンヨトウ			
			ヨトウムシ			
スピノエース顆粒水和剤	スピノシン(5)	キャベツ	ヨトウムシ	2500 ~ 5000	3日前	3回以内
		はくさい	ヨトウムシ	5000	3日前	3回以内

コテツフロアブル	ピロール(13)	キャベツ	シロイチモジヨトウ	2000	前日	2回以内	
			ハスモンヨトウ	2000	前日	2回以内	
			ヨトウムシ	2000	前日	2回以内	
		ブロッコリー	はくさい	ヨトウムシ	2000	前日	2回以内
			ハスモンヨトウ	2000	3日前	2回以内	
				ヨトウムシ	2000	3日前	2回以内
プレオフロアブル	生物活性に係る標的タンパク質が不明あるいは未特定(UN)	キャベツ	ハスモンヨトウ	1000	7日前	2回以内	
			ヨトウムシ	1000	7日前	2回以内	
		はくさい	ヨトウムシ	1000	7日前	2回以内	
		ブロッコリー	ハスモンヨトウ	1000	7日前	2回以内	

表2 ねぎ(適用害虫:シロイチモジヨトウ)に登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
グレーシア乳剤	イソキサゾリン(30)	2000~3000	7日前	2回以内
ディアナ SC	スピノシン(5)	2500~5000	前日	2回以内
スピノエース顆粒水和剤	スピノシン(5)	5000	3日前	3回以内
プレオフロアブル	生物活性に係る標的タンパク質が不明あるいは未特定(UN)	1000	3日前	4回以内
コテツフロアブル	ピロール(13)	2000	7日前	2回以内
アニキ乳剤	アベルメクチン・ミルペマイシン(6)	1000~2000	3日前	3回以内

表3 野菜類(適用害虫:シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ)に登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用作物名	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
ゼンターリ顆粒水和剤	BT(11A)	野菜類 (はくさいを除く)	シロイチモジヨトウ	1000	発生初期 但し 収穫前日まで	-
			ハスモンヨトウ	1000		
			ヨトウムシ	1000~2000		
デルフィン顆粒水和剤	BT(11A)	野菜類	シロイチモジヨトウ	1000	発生初期 但し 収穫前日まで	-
			ハスモンヨトウ	1000		

●農薬の最新情報は、農林水産消費安全センターの農薬登録情報提供システムで確認してください。

農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

●参考

Web版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>)